

聖母月を迎えて



主任司祭 遠山満

教会の中で、しばしば、「聖母の汚れなき御心への奉献」という言葉が聞かれます。これは、「どういう意味か」と思われる方たちも多いかと思えます。何故なら、私たちは毎日、誰に対して私たちの生活を奉献しようとしているかと言えば、神様が、その対象だからです。それでは、「聖母の汚れなき御心への奉献」とは、おかしな表現かと言えば、そうではありません。現に、あのアウシュビッツの聖者、コルベ神父様も、「聖母の汚れなき御心への奉献」をモットーに生涯を送られたからです。

私が、この信心の事を考える上で思い出すことは、私の幼児期のある出来事です。その日、私の母は、毅然とした表情で、私をかかりつけの医院へ連れて行きました。いつも優しく母のことを思うと、この日は特別だったような気がします。私は、幼い頃、注射が大嫌いでしたので、医者に行けば何が待っているのか、大方察することができました。それで、私は、医者に行く道すがら、母の髪の毛を引っ張りながら抵抗しました。医院に着いた時は、最大限の抵抗を試みましたが、敢え無く、母と医療者の手によって、注射の恵みを頂きました。終わった時、案ずるより産むがやすしの心境でした。

さて、今月は聖母月です。マリア様は、御自分に助けを求めに来る人々に、どのように応答されているのでしょうか。最も分かりやすいのは、カナの婚宴の時、召使いたちに、「この人が何か言いつけたら、その通りにして下さい」という言葉です。マリア様は、御自分の所に助けを求めに来る人に、イエス様を紹介されます。また、自分の子供の為に必死でイエス様に取り成す母親も、マリア様の姿を現しています。マタイ福音書15章に登場するカナンの女は、悪霊に取りつかれて苦しんでいる娘の為に、「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんで下さい」とイエス様に訴えています。マリア様も同じように、私たちの為にイエス様に取り成して下さいています。これに加えて、マリア様は、マルコ福音書2章に登場する、中風の人をイエス様の所へ運んで行く4人の人たちにも似ているのではないでしょうか。私たちが病んでいる時、医者であるイエス様の元へ私たちを連れて行かれるからです。病気の時、私たちは医者を嫌がる時があります。何をされるか分からないと思っているからでありましょう。ですから、マリア様に信頼しましょう。マリア様の御手に私たちを委ねましょう。マリア様は、私たちを本当の医者であるイエス様の所へ連れて行かれるからです。

今月は、聖母月でもあり、今日の第二日曜日は、母の日です。私たちの為に、毎日必死で祈って下さっている、私たちの母であるマリア様に感謝を捧げましょう。また、マリア様と一緒に、私たちの為に祈って下さっている天国の聖人たち、天使たちにも感謝を捧げましょう。

議題

1. 笹丘小教区の今年度の目標・テーマ・具体的取り組みについて

福岡教区の今年度目標「信仰の伝達」を受けて、小教区の目標等を検討する。

(1) 目標、テーマ (標語・スローガン)

(案) ア、「学び、伝えよう、わたしたちの信仰を」

イ、「始めよう、福音宣教を家庭から」

(2) 具体的取り組み

(案) イ. 新しく洗礼を受けられた方、洗礼を受けていない初めて笹丘のミサにあずかる方々のためにミサの式次第を作ったらどうか。

ロ. 入学で福岡に来て、笹丘に来られた学生がいたら、声をかけて笹丘の青年を紹介する。

ハ. 笹丘教会の紹介パンフレットを作成する。小教区の組織、活動グループ等の案内がすぐできるように。

ニ. 新しい方、青年たちの居場所を作る。

ホ. 自宅を離れている子どもたちに折りに触れて教会へ行くことを勧めるはがきを作成、送付する。

ヘ. 子供たちから信仰、教会のことについて聞かれても困らないように「いまさら聞けない大人の日曜学校」を開く。



洗礼を受けられた方々にインタビュー

- ①受洗したきっかけは？ ②洗礼式の時のお気持ちは？



ベルナデッタ
森 美樹さん

- ① 一昨年の9月に教会の掲示板を見て、キリスト教講座に参加させていただき、小さい頃に実家近く日曜学校にお話しを聞きたくてよく行っていましたので、お導きだなと思っていたのがきっかけです。
- ② 娘とふたりでしたが、本当に緊張しました。晴れやかな心になれたような気がしました。



クララ
森 拓夢(ひろむ)さん

- ① みんなみたいに心がやさしい人になりたい。しん者としてべんきょうもがんばりたい。
- ② 少しきんちょうした気もちもありました。みんなからプレゼントをもらってうれしかったです。



フランシスカ
K・Hさん

- ① 日頃からカトリック教会の神聖なる環境がすきでした。娘がカトリック信者である。主人はオレは100歳まで生きる！！と己を断固として信じていた人でしたが・・・私達もその言葉を信じていたのですが・・・病院生活1年位で、(この世に)さよなら!!を告げて、今ではカトリックマンション暮らしをしています。それから年月が過ぎて、娘が一人信者でしたので、日頃から寂しさを感じていました。そこで、遠山神父様にお願いして、ご指導を受けることに決めました。月日が過ぎて、娘が「よくがんばったね!!」と言ってくれた時は涙がでるほどうれしかったです。洗礼名は、教皇様がフランシスコなので、その名前を頂いて娘が〔フランシスカ〕と言う洗礼名を選んでくれました。私は生まれ変わったのです。神のいつくしみへの信仰を深めるように努めます。

- ② 何もかも初めてでしたので、自分が別世界にいるような神聖なハートで一杯でした。この時の感動は生涯忘れないでしょう。私は生まれ変わりましたので、神のいつくしみへの信仰を深めるよう努めます。

受洗・初聖体おめでとうございます



4月19日復活徹夜祭にて受洗
ワッシー K・Nさん
ジョセフィーナ Y・Nさん
フランシスカ K・Hさん
ベルナデッタ 森 美樹さん
クララ 森 拓夢(ひろむ)さん



4月27日10時ミサにて受洗
リタ 八尋奈子多(なすた)さん
ライアン 八尋ウィルさん
レジナ 八尋エリスさん



4月27日
10時ミサにて(受洗)
クララ 笹栗ゆり子さん
ベルナディッタ 中村公美さん
ファウステyna 長池涼子さん
マリア 長池喜子(はるこ)さん

4月27日10時ミサにて初聖体
アルフレッド 齊藤郁斗(あやと)さん
クララ 佐藤あかりさん
ペトロ 田上裕介さん

マリア 藤村真衣さん
クララ 笹栗ゆり子さん
マリア 長池喜子さん



フランシスコ・
マリア・コルベ
古川拓磨さん

①受洗する以前から、神様から沢山のお恵みを受けて来たように思います。そして、日頃から親切にいただいている、信徒の萩原さんご家族との不思議な出来事、マリア様のおとりなしや、神学校のシスター方の橋渡しにより、自然に信仰に入っていました。また、毎日のミサと、週一回の遠山神父様との勉強会を続けるうち、心から受洗を待ち望むようになりました。

②こんな晴れの舞台はもう来ないなと思いました。多くの人たちから温かく迎えられ、祝福の言葉を浴びたのは、結婚式以来でしょうか？ 諸聖人の連願で、自分が霊名を頂いた聖人が唄われた時には、感激しました。



どうぞよろしく！！

私は、このたび司牧実習をさせていただくホアン・ドゥク・ロイと申します。ベトナムから日本へ来て7年目になります。今年一年間、笹丘教会の皆様とつながり、共に喜び、共に苦しみ、共に歩んでゆきたいと考えております。



「幸せ」は、遠くにあるものではなく、今ここにあるものだと思います。だからこそ近くにいる家族や隣人、知人などとの関係が大事です。しかし同時に、一人では生きていけないからといって、周囲の人に愛情を求めてばかりいては一人前の人間にはなれません。自立して、自主的、積極的に人と交わっていくのがもっとも大切なことなのではないか・・・日々そんなことを考えながら、神学院での生活を送っています。また、自分の力だけに頼るのではなく、主の恵みの働きに心を開き、へりくだりと信仰を持って、主の招きに惜しみなく応え、自由な心を新たにしていけるように願っているところです。

笹丘教会は、遠山神父様を中心に、まとまりのあるとても温かい共同体だと思います。そして、私たち神学生をいつも心から応援し、召命のためにお祈りくださり、心強く感じています。すべての皆様を神様が祝福し、主の恵みが皆様の上に豊かにあるようにお祈りしています。

編集後記

「あの人のようになりたいくて、あの人の後を追いかけたら、あの人の前にキリストがいた」昨年N神父の三回忌記念ミサでのH神父の説教の言葉。N神父は私が仲間たちと1980年に長崎で行った全国青年大会の指導司祭であったが、三年前62歳の若さで神に召された。今は白髪交じりとなった仲間たちで三回忌のミサを長崎の大司教館の聖堂で行った。説教の冒頭でH神父は「みなさんは今日何のために集まりましたか。」「古き良き時代の同窓会ですか。」「N神父との思い出を懐かしむためにここに来たのではないでしょう」「記念するために集まったのではないですか。」三十数年ぶりに仲間に会えると長崎まで行った私は頭を金づちで打たれたような衝撃を受けた。そうだ、そもそもミサは記念であったはずだ。『私の記念としてこれを行いなさい』はミサの中での言葉ではなかったか。H神父はこう続けた、「記念とは、過去を想起し、今に照らし、明日に向けてこう生きていこうと決意すること」だと。そして、青年時代のあの情熱で、逃げないで、重荷を担いながら、それぞれの小教区教会のためにもうひと働きしてほしいと締めくくられた。

ことしの福岡教区の目標は「信仰の伝達」特に「青少年の信仰伝達」、先人たちが殉教までして私たちに伝えてくれた信仰。伝える立場となった今、このままでいいのか。H神父の話は、つい、うつむきがちな私の頭を持ち上げてくれた。「前を向いて、キリストを追いかけて行こう」

因みに、1980年全国青年大会のテーマは「殉教・彼らにできたことが、私たちにできないでしょうか」であった。

(Y・K)